

# 2024年度 東京家政大学狭山校舎 公開講座

前期講座の  
ご案内



東京家政大学  
ヒューマンライフ支援機構  
地域連携推進センター

## 2024年度 前期講座のご案内

## Tokyo Kasei塾 2024 保育者編《専門講座》

■「子どもの育ちを支える協働と共創」 Part1 子どもの育ちを一緒に支え、共に育つ

## Tokyo Kasei塾 2024 食品編《オンライン専門講座》

■チルド食品の品質・安全確保に必須の低温微生物の基礎知識

## 公開講座

■【歴史・文学】・【語学】・【文化・芸術】・【心理・福祉】・【健康・体力づくり】ジャンルより7講座

## ジュニアサイエンススクール2024

■夏休み理科自由研究「サポート講座」より3講座

## 共催研修会（入間市）

■理科観察実験実技研修会 ■小学校外国語活動集中研修会

## 共催講座（狭山市）

■転ばない身体・環境づくり

## 《TJUP》他大学等連携事業

■県西部大学連携リレー公開講座

## ✧ 所長挨拶 ✧

生活を豊かにし、生きる活力を高めることができる

「生涯学習社会」を目指して

東京家政大学地域連携推進センターは、地域とともに「生涯学習社会」を目指し、「地域課題解決に向けた連携・協力関係の構築」を目的に、本学の教育・研究の成果を地域社会で活用していただけるよう、様々な事業を展開しております。ここにご紹介する各種講座・研修会などはセンターの事業体系の中では、「学習機会提供事業」に位置づけられ、本学の教授陣を中心に講師を担当しております。きっとこの中に皆様のお役に立てる学習機会があると思います。どうぞご活用ください。

今後も本学の教育・研究の成果を活かした地域や社会の課題解決への諸事業・取組みを推進してまいります。皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



東京家政大学  
ヒューマンライフ支援機構  
地域連携推進センター  
所長

久篠 奈苗

## ■地域連携推進センター事業概要……………4～5

## ■Tokyo Kasei塾 2024 保育者編《専門講座》

「子どもの育ちを支える協働と共創」 Part1 子どもの育ちを一緒に支え、共に育つ

- 01 保護者とのパートナーシップ形成力の鍵を掴む ～育ちを共に築く～……………6
- 02 「不適切保育」を考える……………6
- 03 子どもの発達を促す運動遊び ～主体性を促すためには～……………7
- 04 気になる子どもたちと、ともに育つ保育……………7

## ■Tokyo Kasei塾 2024 食品編《オンライン専門講座》

- 05 チルド食品の品質・安全確保に必須の低温微生物の基礎知識……………8

## ■公開講座

## ■歴史・文学

- 06 生きた論語を学ぼう ～中国の名言を楽しむ～……………9

## ■語学

- 07 楽しい英語の歌講座 ～往年の英語名曲を皆さんで歌いましょう～……………9

## ■文化・芸術

- 08 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～……………10
- 09 エコライフを考える ～古着や古布のヨーヨーキルトで作品を作ってみよう！～……………10

## ■心理・福祉

- 10 生き生き感性アート ～臨床美術入門講座（2024前期）～……………11

## ■健康・体力づくり

- 11 女性の健康とペリネケア ～健やかな生活を送るための骨盤底筋のセルフケア～……………12
- 12 からだの健康維持と改善に向けた養生法 ～中医学(漢方)の基礎を学ぼう！(part1)～……………12

## ■ジュニアサイエンススクール2024

- 13 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」  
おもしろ化学実験 ～花火とナイロンの化学～……………13
- 14 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」  
「調理」を科学の目で見ながら再発見！～「うま味」とは何か？親子で味わってみよう！～……………14
- 15 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅲ」  
micro:bitでプログラミングを体験してみよう！……………15

## ■入間市共催研修会

- 16 理科観察実験実技研修会……………16
- 17 小学校外国語活動集中研修会……………17

## ■共催講座

- 18 <狭山市共催> 転ばない身体・環境づくり ～転倒予防特化型トレーニング～……………18

## ■《TJUP》他大学連携事業

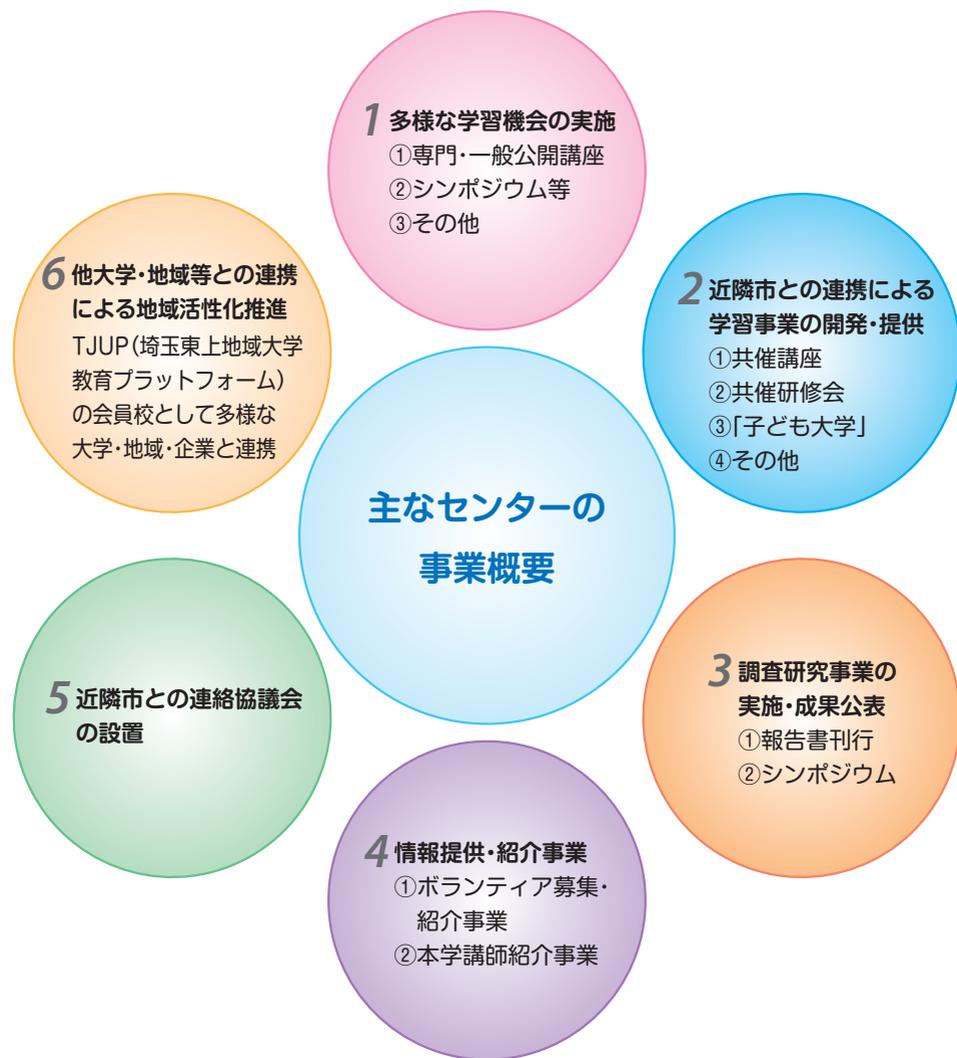
- 19 英語の歌を通して楽しく学びましょう！～英語の発音やリズム、単語や文法を楽しく習得します～……………19
- ボードゲームを体験しよう……………19

## ■講師プロフィール……………20～22

## ■受講のご案内……………23～39

# 地域連携推進センター事業概要

地域連携推進センターは、ヒューマンライフ支援機構を構成する組織の1つとして、地域の人々の学び直しを支援するとともに、学生の成長を促す学習機会を開発・実施し、併せて地域課題解決のための調査研究等、本学の教育・研究をシーズとして、地域との多様な連携の推進と地域の発展に資することとします。



東京家政大学には板橋校舎、狭山校舎の2つのキャンパスがあり、両校舎の教職員の協力体制のもと、学生とも関わりつつ、活動を進めていきます。今、我が国の大学は地域と社会に貢献することが一層求められる中で、皆様と共に活動するセンターとして成長したいと考えます。



◆センター英語名

[Community Liaison Center of Tokyo Kasei University]

◆センター通称名

[コミュリック (CommuLiC)]

## 1. 本学主体の公開講座等、多様な学習機会の実施

開かれた大学として、本学の専門性、特性を活かした各種教養講座(専門分野・一般分野)・講演会・シンポジウム等、多様な学習機会を地域社会の方々等に提供します。

## 2. 近隣市との連携による学習事業の開発・提供

近隣の自治体や関連機関・団体との連携により、地域社会の課題解決に向けた講座や研究会等の学習事業・学習プログラムの開発・提供を行います。

## 3. 調査研究事業の実施・成果公表

センターが行う調査研究や地域における諸機関との共同研究・開発を行うと共にその成果について、報告書等の作成及び公表を行います。

## 4. 情報提供・紹介事業

各種ボランティア情報の提供を中心に、各関係機関からの要請による学生ボランティアの募集・紹介等を行います。

## 5. 近隣市との連絡協議会の設置

大学と近隣市との連絡協議会を設置し、連携によりそれぞれが有する機能を効果的に発揮できるよう、相互に協力し合いながら、地域と大学の活性化を図ります。

## 6. 他大学・地域等との連携による地域活性化の推進

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として、多様な大学・地域・地元企業と連携・協働による活動を全学的に推進しています。

## 「子どもの育ちを支える協働と共創」 Part1 子どもの育ちを一緒に支え、共に育つ

01 保護者とのパートナーシップ形成力の鍵を掴む  
～育ちを共に築く～申込締切  
5/15  
水

【担当講師】 岩崎 雅美 (子ども支援学部准教授)

講座日程	5月25(土)
時 間	10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	筆記用具



## ◆講座概要

この研修では、コミュニケーションスキルと共感力の向上を通じて、保育所と保護者のパートナーシップを強化し、育ちを共に築くヒントを掴むことを目的とします。保護者の多様なニーズと期待に対する理解を踏まえ、保護者の参加を促進するための工夫やイベントの企画力を身につけましょう。お申込お待ちしております！

## 02 「不適切保育」を考える

申込締切  
5/22  
水

【担当講師】 和田 明人 (子ども支援学部教授)

講座日程	6月1日(土)
時 間	10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	筆記用具



## ◆講座概要

(主任講師)

近頃、よく聞くようになった「不適切保育」…。どんな保育が「不適切」で、どんな保育ならば「適切」なのでしょう。また、どうやって「適切」が「不適切」かの線引きをするのでしょうか。いったい、どうして「不適切保育」は起こるのでしょうか。そして、「不適切保育」だとしたら、どうしたらよいのでしょうか。保育には正解がないのではなく、唯一解がなく、不正解はあると思います。

本講座では、「不適切保育」に関する数々の疑問について一緒に考え合いながら、実践家の経験知と若干の理論知をつなぎ合わせて多様な解を探っていきます。

03 子どもの発達を促す運動遊び  
～主体性を促すためには～申込締切  
6/5  
水

【担当講師】 池森 隆虎 (子ども支援学部教授)

講座日程	6月15日(土)
時 間	10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	軽運動のできる服装、室内用シューズ、タオル、筆記用具、飲み物



## ◆講座概要

子どもは様々な活動の中で成長し、諸器官を発達させていきます。特に運動遊びは、身体の発達に関与するだけでなく、判断やコミュニケーションなど精神的な発達にも大きく関係し、統合的な行動の基礎に繋がる大切な活動と考えられます。幼児期において、運動の機会をどのように増やすかとともに、いかに主体的な運動活動へ繋げていけるかが、その後の人間の成長において重要と考えられます。今回は運動の種類と実際の活動を結び付けながら、主体的運動に繋げる方法を現場でのご意見を伺いながら討論形式で内容を深めていきたいと思っております。

## 04 気になる子どもたちと、ともに育つ保育

申込締切  
6/19  
水

【担当講師】 阿部 崇 (子ども支援学部准教授)

講座日程	6月29日(土)
時 間	10:00～12:10 [60分]×2コマ(全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	筆記用具



## ◆講座概要

本講座では、保育場面で見られる「気になる子ども」をどのように捉え、どのように対応するのか、具体例を挙げながら概説します。また、特別支援教育の現場で実際に使用されている教材に触れていただき、どのような子どもにどのようにして教材を使用するのか説明を行います。講義を通して「気になる子ども」の生きづらさを今一度考えるきっかけになればと思っています。先生方が「気になる子ども」への理解を深め、まわりの子どもたちと共に、よりよい支援ができるようになることを願っています。

05 チルド食品の品質・安全確保に必須の  
低温微生物の基礎知識

申込締切

8/28  
水

【担当講師】 藤井 建夫 (東京家政大学大学院客員教授)

開講方法	Zoomによるオンライン開催
講座日程	9月11日(水)
時間	13:30~14:30、14:40~15:40 [60分]×2コマ
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	食品関係の企業に従事されている方、及びこのテーマに関心のある方



## ◆講座概要

細菌の中には、常温よりも10℃以下の方がよく増殖できる低温菌があります。主にチルド食品の腐敗菌のほか、リステリアは0℃でも増殖可能な食中毒菌であり、米国では本菌による食中毒の死者が年間約500人といわれています。チルド食品を扱う食品事業者にとってはその品質・安全確保が喫緊の課題となりますが、多くの場合、その対策に必要な低温微生物についての知識は不十分です。このような背景から私はこれまで民間のセミナーで9年間低温微生物について講義をしてきましたが、関心が高く毎回満員御礼状態(定員40~50名)でした。受講者からは「目から鱗が落ちた」との感想をいただいたこともあります。しかし、残念ながらこのセミナーは主催者の都合で開催されなくなりました。そのためその内容をこのTokyo Kasei塾でお話ししたいと考えております。

講義

13:30~  
14:30

## 低温微生物の基礎知識

## 講義概要

チルド食品の開発・製造に当たっては低温微生物の知識が不可欠です。低温細菌は普通の細菌と何が違うのか。冷蔵庫でも比較的速やかに腐敗が進行することや、0℃でも増殖する食中毒細菌がいることを知っている必要があります。

講義

14:40~  
15:40

## チルド食品の微生物制御

## 講義概要

チルド食品の微生物制御のターゲットは低温細菌です。食品衛生法で決められている生菌数測定法によってチルド食品の品質評価をしているメーカーが多いかもしれませんが、これではいつ事故が起こってもおかしくないということです。その対策として、この講座ではコロンブスの卵のような話をします。

## 06 生きた論語を学ぼう ~中国の名言を楽しむ~

申込締切  
5/24金

講師 打越 竜也 (東京家政大学地域連携推進センター講師 放送大学非常勤講師)

講座日時 金曜日(全3回) 13:30~15:00[90分]  
定員 30名  
受講料 《一般》6,000円 《在学生》3,000円  
持ち物 筆記用具

## 講座内容

古代中国の乱世の中で、人間の在り方を問うた孔子と弟子との言行の記録、また、時の為政者との問答を記録したものが『論語』です。

この『論語』の中には名言とされるものが詰まっています。その名言の数々を読み直して、声に出して読む楽しさを味わいたいと思います。

前回とは異なる文章を使って、一見難しそうな『論語』を、初学者の方でも安心して受講できるよう丁寧に解説してまいります。

- 開催日
- ①6月7日(金) 論語を知る  
読み方に慣れながら、短めな文章でゆっくり学んでみましょう。
  - ②6月21日(金) 論語で考える  
数々の心に響く言葉からテーマを設けて、一緒に考えてみましょう。
  - ③7月5日(金) 論語を楽しむ  
リズムカルな『論語』の言葉を声に出して味わってまいります。



## 07 楽しい英語の歌講座 ~往年の英語名曲を皆さんで歌いましょう~

申込締切  
5/20日

講師 酒井 藤恵 (児童学部准教授)

講座日時 木曜日(全2回) 10:30~12:00[90分]  
定員 30名  
受講料 《一般》4,000円 《在学生》2,000円  
持ち物 筆記用具、室内履き

## 講座内容

自信を持って英語の歌を歌ってみませんか。本講座では、往年の映画名曲、ヒット曲などを取り上げます。歌詞を味わった後、歌唱練習を行います。ちょっとしたコツで、より英語らしく聞こえる発音の習得も目指しましょう。ソロやグループで楽しく歌える機会も設けます。1回目に、受講の皆様「歌いたい英語の曲アンケート」をさせていただきます。過去の本講座で人気のあった曲から3曲をお選びいただけます。過去に受講された方とは曲の重複に関するご相談(同じ曲を希望されるかされないか等)をいたします。

- 開催日
- ①5月30日(木)  
英語の歌を通して、英語発音の特徴に習熟しよう  
往年の映画名曲やヒット曲の中から、歌詞やテンポなどが比較的歌いやすいものから先に扱います。ダニーボーイ(1913)、エーデルワイス(1959)、ムーン・リバー(1961)など。2回目に歌いたい曲を以下から選んでもらうアンケートを行います。マイ・ウェイ(1969)、勝利を我らに・We Shall Overcome(1901・1947)、私のお気に入り My Favorite Things(1959)、イェスタディ(1965)、トップ・オヴ・ザ・ワールド(1972)、心の愛 I Just Called to Say I Love you(1984)、ホール・ニュー・ワールド(1992)、これ以外にも皆さんからリクエストを募ります。
  - ②6月13日(木)  
皆さんのお好きな曲を練習し、楽しく歌いましょう  
1回目のアンケートで人気のあった曲を練習します。後半では、ソロやグループで楽しく歌える機会を設けます。



08 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～

申込締切  
6/28金

講師 金田 誠一郎 (俳優・演出家・振付師)  
講座日時 金曜日(全2回) 13:30~15:00【90分】  
定員 30名  
受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円  
持ち物 動ける服装、筆記用具

開催日

- ①7月12日(金) 声を出してみよう  
軽いストレッチで身体をほぐし、発声練習のあと、大きな声で詩を朗読します。軽くなった身体と明るい声で朗読する楽しさを知ってもらいたいです。
- ②7月26日(金) みんなで詩を読んでみよう  
軽くストレッチしたら、テキストの詩を一人ではなく何人かで身体を動かしながら読んでみます。一人で読むのと全く違う詩の世界を体感してもらいたいです。

講座内容

小説は読むけど詩はちょっと…という方も多いと思います。そんな馴染のない詩を声に出して読むと、びっくりするくらい気持ちがいいんです。普段出せない大きな声で美しい言葉を声に出すと、心も身体もきっと喜んでくれると思います。是非、体感してみてください。



09 エコライフを考える —古着や古布のヨーヨーキルトで作品を作ってみよう!—

申込締切  
6/27金

講師 大塚 有里 (家政学部教授)  
講座日時 木曜日(全2回) 15:00~16:40【100分】  
定員 20名  
受講料 ≪一般≫4,000円 ≪在学生≫2,000円  
持ち物 古着または古布(素材・サイズ自由、異素材の組み合わせも面白いです。) 30~50cm定規(竹製のものであれば貸出可)、手縫い糸(布と同系色が良い)、縫い針(手縫い糸が通るもの)、待ち針10本程度、HB鉛筆またはチャコペンシルなど布に印をつけるもの、糸切はさみ、裁ちばさみ、筆記用具

開催日

- ①7月11日(木) キルトについて I  
布の裁断、ヨーヨーキルト基礎、ビーズの入れ方、デザイン
- ②7月25日(木) キルトについて II  
ヨーヨーキルト応用、仕立て

講座内容

パッチワークは初心者でもつなぎ方や縫い方さえ覚えれば、ミシンがなくても手縫いで簡単に作品作りができます。SDGsといった観点から、思い入れのある古着や古布を用いて、配色や柄を工夫しながら作品作りを楽しんでみませんか。今回はヨーヨーキルトをつないで面を作っていきます。つないだ数によってマット、カバー、バッグなどへ展開していきます。何に仕上げるかは受講者の皆様の自由です。



10 生き生き感性アート —臨床美術入門講座(2024前期)—

申込締切  
5/24金

講師 保坂 遊 (子ども支援学部教授)  
講座日時 金曜日(全3回) 10:30~12:00【90分】  
定員 30名  
受講料 ≪一般≫6,000円 ≪在学生≫3,000円  
持ち物 筆記用具

講座内容

2023年度開講で好評をいただきました「臨床美術」の入門講座を今年度も開催します。豊かな感性と創造力を引き出す独自のアートプログラムを用いて美術創作を楽しむそのプロセスによって、認知症ケア、介護予防、また保育・教育現場、また様々な子どもへの実践へとニーズが広がっているアートセラピーです。それぞれのテーマに沿って、五感で感じたことをユニークな手法によって制作しながら、個性溢れる美術表現の世界を楽しみましょう。  
※本講座は1回ずつの受講が可能です。申込の際、希望日を明記ください。希望日の記載がない場合は全3回の申込といたします。受講料は1回につき≪一般≫2,000円 ≪在学生≫1,000円となります。

開催日

- ①6月 7日(金) スタンピングで描く紫陽花  
梅雨時に美しさが際立つ紫陽花をモチーフに、量感画とスタンピングの技法を組み合わせ、色彩豊かな紫陽花を描きます。  

- ②7月 5日(金) 透かし和紙で作るほおずき  
季節の風物詩であるほおずきの皮を薄い和紙の色彩や質感で表現し、透け感のあるかつ乾いた張りのある印象を色彩豊かに立体表現します。  

- ③8月 2日(金) スイカの残暑見舞い  
スイカの瑞々しい果肉の印象を五感でとらえ、透明水彩のにじみの効果を用いて描き、残暑見舞いの葉書に仕立てます。  


**11 女性の健康とペリネケア** ~健やかな生活を送るための骨盤底筋のセルフケア~ **申込締切 6/11**

**講師** 杉田 理恵子 (健康科学部准教授)  
**講座日時** 火曜日(全2回) 11:00~12:30【90分】  
**定員** 15名(女性限定)  
**受講料** <一般>4,000円 <在学生>2,000円  
**持ち物** 動きやすい服装 (ジャージやパンツスタイル)、飲み物

開催日

①6月25日(火) **骨盤底筋群にまつわるマイナートラブルとペリネケア**  
 骨盤底筋の機能、出産や年齢による変化とマイナートラブルとの関係、ペリネケアの意義と効果について、模型やデジタルツールを用いて分かり易く講義形式で解説します。  
 ②7月2日(火) **ペリネケアエクササイズ**  
 骨盤底筋群に関わるマイナートラブルを予防するペリネケアエクササイズを実際に行います。また、エクササイズを日常生活に取り入れ実践する方法について参加者の皆さんとの意見交換を通して一緒に考えます。



**12 からだの健康維持と改善に向けた養生法** ~中医学(漢方)の基礎を学ぼう!(part1)~ **申込締切 6/7**

**講師** 吉村 吉博 (日本統合医療学園理事長・学長)  
**講座日時** 金曜日(全3回) 14:30~16:00【90分】  
**定員** 30名  
**受講料** <一般>6,000円 <在学生>3,000円  
**持ち物** ノート、筆記用具

開催日

①6月21日(金)  
**養生法① 食事**  
 食事の養生(薬膳を含む)  
 ②7月 5日(金)  
**養生法② 運動・精神**  
 ストレス解消(気功を含む)、運動方法  
 ③7月12日(金)  
**養生法③ 生活習慣・休養(経穴)**  
 よい生活習慣、よい休養方法、すぐ効くツボ



**講座内容**  
 人は病気をしないのが常です。症状がみつければ薬よりも養生を見直すべきです。少子高齢化が叫ばれる中、いかに健康寿命を伸ばして生涯健康に過ごすことができるかが鍵となっています。病気になる前の体調不良を未病といいます。未病や病気を防ぐためには養生法が欠かせることができません。中医学(漢方)の基礎である養生学に多くのヒントが隠されています。その秘訣をお教えます。

**13 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」**  
**おもしろ化学実験 ~花火とナイロンの化学~** **申込締切 7/13**

**【担当講師】 池田 壽文 (家政学部教授)**

講座日程	7月27日(土)
時間	9:30~11:00、11:10~12:40 【90分】×2コマ
定員	24名
受講料	3,000円
対象	小学4・5・6年生
持ち物	白衣またはエプロン(汚れても良い恰好で)、タオル、筆記用具



**◆講座概要**  
 「花火はなぜいろんな色を生み出せるのか?」「ナイロンはどうやってできているのか?」「熱や光で分解されるわさびは、どうしてチューブの中で新鮮なままなの?」など暮らしの中にはいろんなギモンが広がっています。しかし、化学の原理を知っていれば簡単に理解して解決することができます。  
 今回は、花火の化学とナイロンの化学を実際にも実験してみることで説明できるようにしていきましょう!  
 最後に、ワークシートにまとめてレポートを作成します。

**講義 1 9:30~11:00 花火はなぜいろんな色を生み出せるのか?**

**講義概要**  
 花火の原理である炎色反応を行う。さまざまな金属イオンは特有の発色で燃焼する。バーナーの使い方と綿棒を利用したきれいな発色方法について説明します。

**講義 2 11:10~12:40 ナイロンはどうやってできているのか?**

**講義概要**  
 一般的なナイロン66の合成を行う。界面重合の話をつわりやすく説明し、暮らしに身近なアイテムに触れることから、化学への興味を誘導します。



**14 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」  
「調理」を科学の目で見ながら再発見！  
-「うま味」とは何か？親子で味わってみましょう！-**

申込締切  
**7/13**  
⊕

【担当講師】 土屋 京子 (短期大学部教授)

講座日程	8月3日(土)
時 間	9:30~11:00、11:10~12:40 [90分]×2コマ
定 員	18組36名
受講料	3,000円(材料費含む)
対 象	小学校4・5・6年生とその保護者 ★親子プログラム ※お申込のお子様と保護者の方以外(お子様の兄弟等)の同伴の受講はご遠慮ください。
持 物	マスク、エプロン、三角巾(バンダナでも可)、 手拭き用のもの(ハンドタオル、ハンカチ等)、 筆記用具



◆講座概要

私たちは、食物のおいしさを五感を通して感じています。味覚は舌で感じる「味」に関係がありますが、この内の「うま味」は、甘い・塩っぱい・すっぱい・苦いでは表現できない複雑な味です。しかし、このうま味こそが調理の出来栄え(おいしさ)を左右する大事なもののなのです。今回はこの「うま味」について考えてみたいと思います。実際に色々な試料(出し汁)を作り、うま味成分を味わってみましょう。うま味を知ること、皆さんの食生活が1ランクアップすること間違いなしです。

最後に、ワークシートにまとめてレポートを作成します。

講義

**9:30~12:40 身近な食品を利用して、「調理」を科学の目で見ながら再発見する**

講義概要

始めに講義・示範をします。次に実験をします。出し汁の種類、塩分の添加等、数種類の試料を作り、実際に味わって比較検討します。最後は味噌汁を作り、試食してみましょう。



**15 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅲ」  
micro:bitでプログラミングを体験してみよう!**

申込締切  
**7/13**  
⊕

【担当講師】 長谷川 大和 (健康科学部非常勤講師)

講座日程	8月3日(土)
時 間	13:30~15:00、15:10~16:40 [90分]×2コマ
定 員	15組30名
受講料	3,000円
対 象	小学校4・5・6年生とその保護者 ★親子プログラム ※お申込のお子様と保護者の方以外(お子様の兄弟等)の同伴の受講はご遠慮ください。
持 物	筆記用具



◆講座概要

現在、小学校においてはプログラミング教育が実施されています。これは子どもたちが将来どのような職業に就くとしても時代を超えて普遍的に求められる「プログラミングの思考」を育もうとしているからです。小学校では、子どもたちがプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施しています。今回は、イギリスBBCにおいて開発されたmicro:bitと呼ばれるマイコンボードを教材として、プログラミングを体験してみましょう。

最後に、ワークシートにまとめてレポートを作成します。

講義

**13:30~15:00 micro:bitを使ってみよう**

講義概要

micro:bitで何ができるのかを考えながら、各種センサーを体験します。

講義

**15:10~16:40 micro:bitで無線通信をやってみよう**

講義概要

micro:bitのBluetooth機能を用いて、親子で無線通信を体験します。

## 教員研修会について

地域連携推進センターでは学校教員や、学習支援員を対象とした夏期集中研修会を入間市と共催で行っております。

**16 研修会 1 《入間市共催》理科観察実験実技研修会** 申込締切 7/18

### 2024年度の内容(予定)

※変更となる場合がございます。

**講座 I** 9:30~11:00 **化学へのいざない ～花火と食酢とナイロンの化学～**

【講師】 池田 壽文 (家政学部教授)

- ①花火を使っの炎色反応実験 ②食酢を使っの中和反応実験
- ③ナイロン66の合成を行う高分子合成実験 以上の3つの実験を行います。

**講座概要** 児童・生徒を対象とした各種実験を実施するにあたり、安全性を担保しつつ学習効果の高いコンテンツを確保することは、教える側にとって極めて重要です。今回は、基本的な手技のみで実験できる「炎色反応」「中和反応」を中心に実演し、安全に進めるコツと基本原理について解説します。また、残り時間で「高分子合成」を実演しつつ、今後関連してくる衛生関連規則に関する解説も加えます。

**講座 II** 11:10~12:40 **「主体的・対話的で深い学び」を実現させるタブレットの活用とは**

【講師】 長谷川 大和 (健康科学部非常勤講師)

理科の授業において、タブレットをどのように使うかを検討します。

**講座概要** 小・中学校ともに児童・生徒一人に一台のタブレット端末が配布されており、学びを個別最適化する環境は整ってきています。しかし、学校教員の非常に多忙な状況では、それを授業で上手く活用できていないことが予想されます。ここでは、そのような状況を踏まえ、タブレットを活用した授業方法について参加者の皆さんと共に考え、学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」を児童に実現させるにはどうすればよいかを検討していきたいと思ひます。

講座 I

池田 壽文



講座 II

長谷川 大和



日時	8月1日(木) 9:30~12:40 [90分]×2コマ	定員	26名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円 (資料代・保険料等)		
対象	小学校または中学校教員、学習支援員として働いている方、小学校教員を目指している方		
持ち物	筆記用具、白衣(お持ちの方)、動きやすく汚れてもよい服装・靴(ハイヒール不可)。講座IIでは、タブレット(インターネットに接続できるもの)を使用しますので、お持ちください。		

## 教員研修会について

地域連携推進センターでは学校教員や、学習支援員を対象とした夏期集中研修会を入間市と共催で行っております。

**17 研修会 2 《入間市共催》小学校外国語活動集中研修会** 申込締切 7/18

### 概要

本研修会は、小学校外国語活動・外国語をご担当される先生方、また、小中連携も視野に入れ、中学校の英語の先生方にもご参加いただけます。先生方がより楽しく効果的に指導法研究に取り組み、ご自身の英語運用力もグレードアップできるヒントが見つかる内容にしたいと考えています。具体的には、classroom Englishのグレードアップ、small talkの具体例・題材の見つけ方、自己表現力を高めるアクティビティの紹介、効果的な帯活動、絵本を用いた指導法、writingの指導法など、盛りだくさんに取り入れます。



酒井 藤恵  
(児童学部准教授)

日時	8月2日(金) 9:30~12:40	定員	32名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円 (資料代・保険料等)		
対象	小学校または中学校教員、学習支援員として働いている方、小学校教員を目指している方		
持ち物	筆記用具		

### 2024年度の内容(予定)

※変更となる場合がございます。

## 楽しく効果的に使える具体的指導法

**1時限** 9:30~11:00 **小学校外国語活動の効果的な指導法について**

classroom English、small talk、自己表現力を高めるアクティビティの指導法について、具体例をお示しします。先生方からも日頃の実践やアイデアを伺います。より効果的な指導法を目指して練習していきましょう。

**2時限** 11:10~12:40 **小中連携を視野に入れて**

帯活動、絵本を用いた指導法、writingの指導法について、具体例をお示しします。先生方からも日頃の実践やアイデアを伺います。より効果的な指導法を目指して練習していきましょう。

18 狭山市共催

転ばない身体・環境づくり ～転倒予防特化型トレーニング～

【担当講師】 岡部 拓大 (健康科学部准教授)

講座日程	6月14日(金)、6月28日(金)
時間	11:00～12:30 [90分]
定員	20名
受講料	1,000円(2回分)
対象	狭山市在住・在勤の方
持ち物	運動が可能な服装(スカートはお控えください)、 飲み物、筆記用具、2日目に空の500～1000ml ペットボトル2つ(蓋つき)
申込方法	5月17日(金)より受付開始。 下記狭山市役所窓口へ直接お申込ください。



◆講座概要

中高齢者にとって「転倒」は健康寿命を著しく損なうものであり、ケガや恐怖感、活動性の低下といったその後の生活に大きな影響を与えます。しかしながら、普段から気をつけていても起こるのが「転倒」です。転倒を予防するためには、転倒に対する正しい知識と継続した予防が重要です。

本講座では転倒に対する知識、ならびに予防法について、講義および実技実践を行いたいと思います。特に実技については特別な器具を使用せず、実施・継続しやすい内容を中心にご紹介したいと思います。

講義 1 6月14日(金) 転倒とは何か。転倒の要因と予防法を知ろう

講義概要

転倒についての正しい知識と予防法、自身の転倒リスクの状態を各種測定によって把握します。

講義 2 6月28日(金) 転倒予防の効果を体感しよう

講義概要

再度、身体測定を行い、ストレッチや筋力トレーニングを中心とした転倒予防の効果を体感し、今後の転倒予防につなげます。

(共催講座について) 地域連携推進センターでは、狭山市と共催講座を企画しています。お申込・お問い合わせは下記連絡先または市報をご確認ください。

(お申込・お問い合わせ) 狭山市教育委員会 生涯学習部スポーツ振興課  
電話：04-2946-8738 (スポーツ振興課直通)



東京家政大学・駿河台大学ではリレー公開講座を実施。(詳細は各大学HPをご確認ください。)

明日を育てる人を育てる 一ひと・育成力アップ

①東京家政大学

申込締切  
8/31

19 講座名：英語の歌を通して楽しく学びましょう!

～英語の発音やリズム、単語や文法を楽しく習得します～

現在、公立小学校では3年生から外国語活動、5年生から教科としての英語の授業が始まっています。

この講習では、英語の歌を歌い、楽しみながら英語を学ぶ機会を提供します。歌のリズムや歌詞を通じて英語特有の音や新しい単語を習得し、自然な英語の発音やフレーズを身に付けます。親御さんやご祖父母との参加も可能です。~~もちろん、お子様お一人での参加もできます。~~英語を歌で学ぶ楽しさを体感し、2学期からの学校の授業への興味とモチベーションを高めます。

概要

②駿河台大学(直接、駿河台大学にお申込ください)

申込締切  
9/7

講座名：ボードゲームを体験しよう

ルール説明を含め15分～30分程度で終わるボードゲームを数種類、体験しましょう。ボードゲームはリバーシや将棋、ウノや人生ゲームだけではありません。ぜひ面白さを実感してください。ボードゲームの良いところは、手品や宴会芸のように、みんなを数十分、楽しませることができること、世代間を超えた交流がしやすいこと、コミュニケーション能力が嫌でも身につくところです。大学でも「コミュニケーション能力が不安だったがボードゲームで自信がついた」という学生がたくさんいました。ぜひご参加ください。

講師



①酒井 藤恵  
(東京家政大学児童学部准教授)



②竹内 俊彦  
(駿河台大学メディア情報学部准教授)

日程	①9月14日(土) 13:00～14:40 [100分] ②9月21日(土) 13:00～14:40 [100分]	定員	各15組30名
受講料	無料		
対象	狭山市・入間市・飯能市在住の小学3年生～6年生とご家族(ご両親、ご祖父母、あるいは、保護者にあたる方) (小学生だけのご参加可能です)		
持ち物	筆記用具		
申込 問い合わせ	東京家政大学 地域連携推進センター 〒350-1398 狭山市稲荷山2-15-1 TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929 E-mail: chiikioubo@tokyo-kasei.ac.jp	駿河台大学 地域連携課 〒357-8555 飯能市阿須698 TEL 042-972-1181 FAX 042-972-7767 E-mail: tiiki@surugadai.ac.jp	



東京家政大学は、TJUP(埼玉東上地域大学教育プラットフォーム)に加盟しており、地域の活性化・まちづくりに取り組んでいます。



(TJUP HP)

## 講師プロフィール (50音順 あ～お)

### ■阿部 崇 (あべ たかし)

筑波大学附属大塚特別支援学校(知的障害)に長らく勤務し、知的障害児教育における先導的教育モデルを目指した実践に取り組んできた。平成30年度より、東京家政大学子ども学部(2023年4月子ども支援学部へ名称変更)子ども支援学科及び、大学院児童学児童教育学専攻で教鞭をとる。障害のある子どもの教育や運動遊び、また障害者スポーツを専門に研究する。

主な著書として、「特別支援教育時代の体育・スポーツ：動きを引き出す教材80(大修館書店)」、「21世紀スポーツ大事典(大修館書店)」、「発達が気になる子の運動遊び88(学研教育出版)」がある。

〈担当講座〉Tokyo kasei 塾2024 保育者編(4. 気になる子どもたちと、ともに育つ保育)

### ■池田 壽文 (いけだ ひさふみ)

東京家政大学家政学部環境共生学学科教授。岡山県津山市出身。1994年、京都大学大学院薬学研究科博士課程単位取得後退学。その後、米国立衛生研究所、JST/CREST博士研究員(京都大学)、東京理科大学、大阪大学を経て、2014年に東京家政大学准教授、2018年より現職。薬学徒として医療に携わりたいと思い、生物有機化学をベースにした“ものづくり”を展開中。その過程で、核酸の脆弱さを補う人工機能核酸に興味を抱き、「超高感度遺伝子診断装置の開発」と「生体膜透過機能性分子設計」を主たる研究テーマとして、従来のバイオテクノロジーとは一線を画す技術開発を行う。主な社会的活動として日本薬学会、日本化学会、米国化学会の各正会員。

〈担当講座〉ジュニアサイエンススクール2024(13. おもしろ化学実験 ～花火とナイロンの化学～) 入間市共催(16. 理科観察実験実技研修会)

### ■池森 隆虎 (いけもり たかとら)

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。筑波大学大学院体育研究科コーチ学専攻修了(体育学修士)。専門はスポーツ心理学。また、運動・スポーツ分野以外にも、表現環境分野(音響・照明・映像)での造詣が深い。研究課題は子どもの遊びの創造、子どもの遊び場づくり、表現環境の整備、音響・照明・映像を用いた表現演出システムの構築。

主な社会活動は、狭山市スポーツ推進審議会会長など。

〈担当講座〉Tokyo kasei 塾 2024 保育者編(3. 子どもの発達を促す運動遊び ～主体性を促すためには～)

### ■岩崎 雅美 (いわさき まさみ)

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科准教授、社会福祉士、介護支援専門員。講義では、「社会福祉概論」「子どもとソーシャルワーク」「子育て支援」を担当。社会的活動としては、「入間市まち・ひと・しごと有識者会議」「飯能市男女共同参画審議会」、かながわ福祉人材研修センター主催「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース」「チームリーダーキャリアパス研修(保育分野)」「新任民生委員・児童委員研修」等に携わっている。

著書に『保育・教育ネオシリーズ8 社会福祉援助技術』同文書院 共著、「社会福祉援助技術」光生館 共著 他がある。

〈担当講座〉Tokyo kasei 塾 2024 保育者編(1. 保護者とのパートナーシップ形成力の鍵を掴む ～育ちを共に築く～)

### ■打越 竜也 (うちこし たつや)

大東文化大学大学院博士課程後期満期退学後、同大学の生涯学習講座講師として『論語』講座を担当。その他、埼玉県内の公民館、公開講座などでも『論語』講座を担当。また放送大学非常勤講師。論語講師として今年で23年目となる。一方で、大学受験予備校の河合塾で漢文講師としても活動中。

〈担当講座〉公開講座(6. 生きた論語を学ぼう ～中国の名言を楽しむ～)

### ■大塚 有里 (おおつか ゆり)

東京家政大学卒業、日本女子大学大学院修了(家政学修士)。現在、家政学部服飾美術学科教授。専門分野は服飾工芸、服飾文化。担当科目はニードルアートI・II、ニットI・II、服飾工芸論 他。研究課題は服飾工芸での作品制作、19世紀の手編みニットの研究。主な社会的活動として服飾文化学会理事、JICA技術専門委員 他。

〈担当講座〉公開講座(9. エコライフを考える ～古着や古布のヨーヨーキルトで作品を作ってみよう！～)

## 講師プロフィール (50音順 お～つ)

### ■岡部 拓大 (おかべ たくひろ)

長崎大学大学院医学系研究科にて博士(医学)を取得。身体障害領域の作業療法士として、10年以上臨床業務に従事。研究は①中高年者における心身機能が日常生活に及ぼす影響、②視線と運動の協調性について調査・実験をおこなっており、人の生活を科学的に検証し、早期の健康維持につながる研究をおこなっている。今後も地域に根差した調査・疫学研究をおこない、介護予防や地域の活性化、地域住民の生活の質の向上につなげたい。

著書：解剖学・生理学・運動学に基づく動作分析。リハビリテーション管理学(共著)

〈担当講座〉狭山市共催(18. 転ばない身体・環境づくり ～転倒予防特化型トレーニング～)

### ■金田 誠一郎 (かなた せいいちろう)

オンシアター自由劇場付属養成所卒業後、アメリカ・ニューヨークヘダグスの勉強の為、渡米。1992年には自身の劇団「UTAN☆EYES」を立ち上げ、作・演出・振り付けを手がける。

1999年ショー GEKI大魔王旗揚げに参加、2012年までのほとんどの公演に参加。その後、映像作品へ活動の場を広げる。

出演作品「シン・ゴジラ」「闇金ウシジマくん part 3」「今夜、ロマンス劇場で」等。

〈担当講座〉公開講座(8. 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～)

### ■酒井 藤恵 (さかい ふじえ)

東京家政大学児童学部初等教育学科准教授。東京都公立中学校、私立中学高等学校、私立短期大学等の勤務を経た後に、東京家政大学に着任。中・高現場の英語教授経験を生かし、英語の4技能習得や、英語科教育法などの科目を担当する。歌やコミュニケーションを授業に多く取り入れ、楽しく効果的な授業を目指す。

現在では、主として、小学校の英語教育に関する開発や研究を実施している。文科省中学校英語検定教科書One World著者、英語検定面接委員。

〈担当講座〉公開講座(7. 楽しい英語の歌講座 ～往年の英語名曲を皆さんで歌いましょう～)

入間市共催(17. 小学校外国語活動集中研修会)

【TJUP】他大学連携事業 県西部大学連携リレー公開講座(19. 英語の歌を通して楽しく学びましょう！～英語の発音やリズム、単語や文法を楽しく習得します～)

### ■杉田 理恵子 (すぎた りえこ)

看護師・助産師免許取得。助産師として病院に勤務後、出産育児に専念。復職後は看護師養成所や大学で看護師教育に携わる。東京医科歯科大学大学院修士(医療政策学)、立教大学大学院博士(比較文明学)の学位を取得。主な研究課題は、周産期医療システム、ウイメンズヘルス。本学では、健康科学部看護学科に所属し主に母性看護学・助産学領域で講義・演習・実習を担当している。また、東京家政大学がせい森の産後ケアサロンではスタッフとして産後ケアや子育てイベントの企画運営を行っている。

〈担当講座〉公開講座(11. 女性の健康とベリネケア～健やかな生活を送るための骨盤底筋のセルフケア～)

### ■竹内 俊彦 (たけうち としひこ)

駿河台大学メディア情報学部准教授、総合ゲーム研究会顧問。

授業：ソーシャルメディア論、データサイエンス入門、情報と分析、マルチメディア論、プロジェクトマネジメント。

青山学院大学大学院理工学研究科博士後期課程経営工学専攻博士課程単位取得後退学、その後、青山学院大学大学院理工学研究科マネジメントテクノロジーコースで論文博士(工学)取得。

専門分野：教育工学、エデュタタイムメント、ボードゲーム・クイズ・マンガなどを利用した教育。

趣味：クイズ作成、マンガ読み(特に食べ物のマンガ)。

〈担当講座〉県西部大学連携リレー公開講座(ボードゲームを体験しよう)

### ■土屋 京子 (つちや きょうこ)

東京家政大学家政学部栄養学科卒業。放送大学大学院文化科学研究科修了。助手、講師、准教授を経て、現在の教授に至る。調理科学を専門にしている。本学では、調理学、調理科学実験、調理学実習(基礎・応用)、食生活教育演習、フードコーディネーター論等を担当している。

主な著書に「新版 調理-実習と基礎理論-」「調理科学実験」「新版 調理学」「調理の科学-基礎から実践まで-」「伝え継ぐ日本の家庭料理」「サンチャイルド・ビッグサイエンス さとうのへんしん」「栄養素ヒーロー図鑑」等がある。

〈担当講座〉ジュニアサイエンススクール2024(14. 「調理」を科学の目で見ながら再発見！-「うま味」とは何か？ 親子で味わってみましょう！-)

## 講師プロフィール (50音順 は～わ)

### ■長谷川 大和 (はせがわ やまと)

東京理科大学理学部卒、東京工業大学大学院修士修了、新潟県立高校教諭を経て、現在、東京工業大学附属科学技術高等学校教諭(理科・物理)。兼任として、東京家政大学健康科学部看護学科非常勤講師(物理学概論)、青山学院大学理工学部教職課程非常勤講師(理科教育法)。高等学校理科検定教科書「物理基礎」、「物理」(実教出版)編修委員、日本学生科学賞中央審査専門委員(高校物理)、科学技術振興機構アジアサイエンスキャンプ推進委員などを務める。

専門分野は物理教育、理科教育、STEAM教育。

〈担当講座〉ジュニアサイエンススクール2024 (15. micro:bitでプログラミングを体験してみよう！)

入間市共催 (16. 理科観察実験実技研修会)

### ■藤井 建夫 (ふじい たてお)

京都大学大学院農学研究科博士課程修了、京都大学農学部助手、水産庁東海区水産研究所微生物研究室長、東京水産大学・東京海洋大学教授、山脇学園短期大学教授、東京家政大学特任教授、日本食品衛生学会会長などを経て、現在、東京家政大学大学院客員教授、東京海洋大学名誉教授。

専門分野：食品微生物学(腐敗、発酵、食中毒、微生物制御)。

主な社会活動：日本水産学会、日本食品衛生学会および日本食品微生物学会の各名誉会員。「ガッテン!」、「ホンマでっか?!TV」、「林修の今でしょ!講座」、「羽鳥慎一モーニングショー」、「たけしのニッポンのミカタ!」、「この差って何ですか?」など数多くのメディアに出演。

〈担当講座〉Tokyo Kasei塾 2024 食品編 (5. チルド食品の品質・安全確保に必須の低温微生物の基礎知識)

### ■保坂 遊 (ほさか ゆう)

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会/日本臨床美術協会理事。

大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部(2023年4月子ども支援学部へ名称変更)に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育―福祉―医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

〈担当講座〉公開講座 (10. 生き生き感性アート ― 臨床美術入門講座 (2024前期)―)

### ■吉村 吉博(よしむら よしひろ)

星薬科大学大学院博士課程修了(薬学博士)。JICA 専門家としてビルマ国家製薬開発センター、アメリカ合衆国疾病対策センター(CDC)にて研究。星薬科大学助教授、日本薬科大学漢方薬学科教授を経て日本統合医療学園理事長・学長に至る。現在、東京農工大学非常勤講師、星薬科大学客員教授、漢方吉村薬局・漢方健康堂の顧問、学校薬剤師を兼任。

〈担当講座〉公開講座 (12. からだの健康維持と改善に向けた養生法 ～中医学(漢方)の基礎を学ぼう! (Part1)～)

### ■和田 明人(わだ あきひと)

初任から短期大学で14年間、前任の大学では17年間、現在は東京家政大学の教員(子ども支援学部教授)として、これまで保育者養成教育に携わって参りました。

現在、高齢者介護施設を運営する社会福祉法人と、保育所を運営する社会福祉法人のそれぞれの理事長職を務めております。

保育現場と保育者養成校の実働を協働にするための方略を模索中です。

〈担当講座〉Tokyo kasei 塾 2024 保育者編 (2. 「不適切保育」を考える)

お願い

講座をお申込の前に  
必ず、目を通してください。

## 受講のご案内

受講のご案内・申込方法	23～27
よくあるご質問 Q&A	28～29
講座風景の様子	30～33
学園が設置する学校・学部・学科等構成	34
狭山キャンパスマップ	35
交通のご案内	36
受講申込書 (FAX専用紙・ハガキ) 講座風景	37～39

メールでも申込が可能です。

(詳細はP. 27参照)

### ※ 受講資格

- ◆ 年齢・性別は問いません。どなたでも受講できます。
- ◆ 講座により、受講条件がついている講座がありますので、各講座のご案内をご覧ください。

### ※ 定員

- ◆ 定員となり次第締切りとなります。講座によっては抽選にての対応となる場合もありますので、ホームページの各講座の案内頁をご確認ください。

### ※ 受講キャンセルについて

- ◆ 受付完了後のキャンセルの際は必ずご連絡をお願いします。申込完了後のキャンセル・変更に伴う、受講料・教材費の返金は、基本的に応じられません。  
ただし、開講前ややむをえない事情と判断された場合は、  
返金手数料（1,000円）  
事務手数料（300円）  
を除いた金額を返金いたします。講座開講日当日のキャンセルは、受講料・教材費等の返金はいたしませんのでご了承ください。

### ※ キャンセルが発生した場合について

- ◆ 定員を超えた講座に関しては、先着順にて講座の前日までにお電話にてご連絡いたします。  
講座によっては、再度抽選を行いご連絡する場合があります。  
※ 申込書のお電話番号は、日中連絡のつく番号をご記入ください。

### ※ 開講中止について

- ◆ 受講者が一定数に満たない場合、講座を中止することがあります。  
やむをえない事情により講座が中止となった場合、受講料を返金いたします。  
返金は銀行振込になります。  
なお、当該年度内に返金手続きに必要な書類をご提出いただけない場合は、返金の権利を放棄したものとみなします。

### ※ 受講料について

- ◆ 後日（講座2週間前頃）、「開講案内・専用払込票（コンビニ専用）」を郵送いたします。専用払込票を使って、コンビニエンスストアにて、支払期日を厳守の上お振込みください。  
また、受講料とは別に、事務手数料として300円を頂戴いたしますので、ご了承ください。  
なお、銀行・郵便局でのお振込み、当センター窓口での現金での受講料のお支払いは原則できません。

### ※ 休講について

- ◆ 講師の都合及び事故・災害・病気等のやむをえない事情により、休講になることがあります。  
その際、当初の日時を変更・あるいは講師を変更して補講を実施する場合があります。  
補講の日程については講師が決めさせていただきますので、予めご了承ください。  
休講の連絡は、申込時にご記入いただいた電話番号にご連絡します。不明な際は、地域連携推進センターまでお問い合わせください。（業務時間外は対応できませんのでご了承ください）

### ※ 図書館利用について

- ◆ 講座受講期間中は、図書館への入館ができます。ただし、図書の新着出しや視聴覚機器のご利用はできません。
- ◆ **ご利用の際には、「図書館利用カード」が必要となります。ご希望の方はセンターまでお越しください。なお、カードは必ず、当日の業務時間内に返却ください。**  
※ご利用時は「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）

### ※ 学生食堂利用について

- ◆ 講座受講期間中は、学生食堂の利用ができます。
- ◆ **ご利用の際には、「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）**  
※初回の講座前に利用の場合は、センターまでお越しください。

### ※ 受講上の注意

- ◆ **駐車場はありませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。**
- ◆ 教室内での食事・喫煙はご遠慮ください。  
※水分補給のための飲み物は可能です。
- ◆ 講座中は、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
- ◆ 他の受講生の迷惑となるような行為、また、講義の進行を妨げるような行為があった場合は、受講をお断りする場合があります。
- ◆ 教室内では、許可なく録音・録画・撮影することはできません。
- ◆ 講座中、広報用に写真、動画の撮影をさせていただきます。写真、動画はパンフレット、チラシ、ホームページ等に使用させていただきますのでご了承ください。なお、写真、動画の撮影、使用に同意されない場合は、講座当日お申し出ください。
- ◆ 親子プログラム対象者以外のお子様との同伴の受講は、ご遠慮ください。

### ※ 受講特典

- ◆ 受講案内のパンフレットを、毎年お送りいたします。

### ※ 個人情報について

- ◆ 個人情報は公開講座以外の目的には使用いたしません。

## 1 受講申込

巻末の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、**FAXまたはハガキ**で、お申込ください。

ハガキでお申込の場合は、申込締切日必着となりますので、余裕をもって投函してください。

**メールでもお申込可能です。**  
(詳細はP.27参照)

**★申込締切は原則、各講座開始日の約2週間前**

- 日数調整のため、締切日が前後する場合がありますのでご了承ください。
- 各講座のタイトルの右横に、申込締切日を表記しています。この日が、開講有無の最終決定日となります。

**\*お電話でのお申込は受付ておりません。**

## 2 申込結果 専用払込票郵送 (コンビニ専用)

### \* 開講決定の場合

「受講票」と「専用払込票(コンビニ専用)」を各講座申込締切後(講座2週間前頃)に郵送します。

### \* 受講希望者が定員を超えた場合

講座によっては、「キャンセル待ち」として登録し、メールまたはお電話にて連絡します。

- 「キャンセルが発生した場合」講座の前日までにキャンセル待ちの登録順にお電話にて連絡します。
- 「講座の前日までにキャンセルが発生しない場合」連絡はいたしませんのでご了承ください。

### \* 講座申込締切日の時点で、申込者数が一定数に達しない場合

中止決定の通知をメールまたは郵送にて連絡します。

## 3 受講料徴収 講座開講

\* 講座期間中は、「受講票」をご持参ください。正門入構の際、ご提示ください。

\* 受付の後、指定の教室にお入りください。

教室は、前の授業で使用している場合があります。  
**教室への入室は、原則として30分前とさせていただきます。**

**★受講料については、お送りする専用払込票(コンビニ専用)にて、記載されている期日までに、お支払いをお願いいたします。**

※一部講座では、当日受付にて現金徴収場合があります。

## メールでの申込方法

次の事項を明記の上、メールの件名を「公開講座申込」として、下記申込専用E-mailアドレスへ送信してください。

- ① **■ 駐車場はありませんのでお車のご来校は、ご遠慮ください。**  
**■ 講座決定後のキャンセルの場合は、材料費を伴う講座については材料費を徴収させていただきます。**  
**■ 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・材料費の返金はいたしません。**  
**■ 申込締切日厳守をお願いします。**  
**■ 講座中、広報媒体用(パンフレット、チラシ、ホームページ等で使用)として、写真・動画の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。**  
**☆ 以上の内容を了承の上、受講を申込ます。「はい」を必ず記入**

- ② 受講講座名
  - ③ 住所
  - ④ 氏名(ふりがな)
  - ⑤ 性別
  - ⑥ 電話番号/携帯番号
  - ⑦ E-mailアドレス
  - ⑧ 生年月日(年齢)
  - ⑨ 職業
  - ⑩ 受講経験の有無
  - ⑪ 講座は何でお知りになったかを記入
- ※⑥の連絡先は、必ず連絡のつく番号を記入ください。

申込専用  
《E-mail》アドレス



chiikiubo@tokyo-kasei.jp

## お問い合わせ先

東京家政大学 ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

住 所 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1 TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929

受付時間 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00

E-mail chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

U R L <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>



## Q&A よくあるご質問

皆様より特に多く寄せられましたご質問にお答えします。

### Q1 電話での受講申込はできますか？

A 電話でのお申込は受け付けておりません。  
巻末にある受講申込書ハガキ（パンフレット裏面）・FAX専用紙（P. 37）または、専用（E-mail）アドレス（P. 27）にてお申込ください。

### Q2 申込をしたいが、巻末にある申込用紙を既に使ってしまった。どうしたらよいでしょうか？

A 専用の申込書でなくても大丈夫です。官製ハガキ、または、別紙に必要事項（P. 27のメールでのお申込方法入力事項①～⑪を参照）をご記入頂きお申込ください。

### Q3 女子大ですが男性も受講できますか？

A 性別・年齢に関係なくどなたでも受講できます。ただし、講座により受講条件が付いている講座がありますので、各講座のご案内をご覧ください。

### Q4 定員オーバーの場合、「キャンセル待ち」で申込できますか？

A 講座によっては、キャンセル待ちでのお申込が可能です。キャンセルが発生した場合は、先着順にご連絡いたします。詳しくはP. 24の受講のご案内の「キャンセルが発生した場合について」をご覧ください。

### Q5 教室には何分前に入室できますか？

A 原則として講座開始の30分前より入室可能です。（教室は、大学の授業等で使用しているため、ご協力をお願いします。）講座によっては、入室可能時間が変わる場合がございます。その場合は受付の案内に従ってください。

### Q6 早めに来た場合の待機場所、控え室はありますか？

A 大学の授業等で控え室の確保は難しいため、ラウンジまたは図書館、学生食堂をご利用ください。詳しくはP. 25の受講のご案内の「図書館利用について」「学生食堂利用について」をご覧ください。

### Q7 欠席の連絡はした方がよいでしょうか？

A 特には欠席連絡の必要はありません。

### Q8 講座を欠席した場合、その日の資料はもらうことができますか？

A 次回の講座の時に配布致します。ただし、最終回については、センターまでご連絡の上お越しください。（郵送等でのお渡しは行っておりません。）

### Q9 講師・受講生の連絡先を教えてくださいませんか？

A 「個人情報の保護・管理」のため、ご本人の承諾なしに公表することは一切できませんのでご了承ください。

### Q10 子どもと同伴で受講できますか？

A 親子プログラム対象者以外のお子様同伴の受講はご遠慮いただいております。

### Q11 住所の変更等は届け出る必要はありますか？

A 必要です。住所・氏名等に変更が生じた場合は、センターまでご連絡ください。

### Q12 センターから送られてくる講座の資料案内は停止できますか？

A できます。希望される場合は、センターまでご連絡ください。

### Q13 車で通うことはできますか？

A 駐車場がございませんので、車でのご来校はご遠慮いただき、公共交通機関をご利用ください。（P. 36参照）※やむをえず車でご来校された場合でも、基本的には入構はできませんのでご承知おきください。ご理解・ご協力お願いいたします。

## Tokyo Kasei 塾 2023 食品編《オンライン専門講座》風景



チルド食品の品質・安全確保のために

## Tokyo Kasei 塾 2023 保育者編《専門講座》風景



子どもの遊びと学び



運動遊びでの非認知能力の強化



非認知能力を育む遊び



学びをつなぐ保幼小の連携・接続

## ジュニアサイエンススクール2023風景



おもしろサイクロデキストリン実験



「調理」を科学の目で見ながら、再発見！



プログラミングを楽しもう！

## 共催講座・研修会風景



家庭でできる簡単！健康ストレッチ体操



小学校外国語活動集中研修会



理科観察実験実技研修会



保育者研修会

## 《TJUP》他大学連携事業風景



県西部大学連携リレー公開講座  
調理のおいしさを科学する！



共同FD・SD SDGsを身近で具体的な問題として実行・参加を目指す(オンライン)



子どもスポーツ体験教室



## 公開講座風景



生きた論語を学ぼう



楽しい英語の歌講座



絵本を楽しもう!



臨床美術を人生に生かす



魅力的な体力づくり



からだの健康維持と改善に向けた養生法



こころとからだにアプローチ!! 助産師による大人のためのペリネケアレッスン

## 子ども大学さやま・いるま風景

狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、「子ども大学さやま・いるま」を毎年開校。

### 第12期(令和5年度)の様子



第1日【はてな学】【生き方学】  
「お母さんになるって、どんな感じ?  
～妊婦体験やベビーマッサージなど、  
ママの気持ちになって子育てをプチ体験してみよう!～」



第2日【はてな学】【生き方学】  
「なぜ、SDGsが必要なの?  
～SDGsを知って、オリジナル羊毛石鹸・  
羊毛woodを作ろう!～」



第2日【はてな学】【生き方学】  
「『論語』って何? 皆で、声を出して、『論語』を学ぼう!  
どうして、勉強するの? 友達と仲良くするには?  
…ヒントがあるはず、新しい発見をしてみよう!」



第2日 昼食は学食体験!!  
「自分の好きなメニューを選ぼう!  
わくわく! どきどき!  
お楽しみ!」



第3日【はてな学】【生き方学】  
「脳はどうやって手を動かしているの?  
～人の不思議を体験してみよう!～」

※お問い合わせ・お申込は各学校からの  
お知らせをご覧ください。





# 交通のご案内 ~当大学へのアクセス~

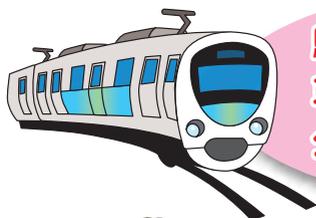
## ACCESS



\* 西武線をご利用の場合



\* JR川越線、東武東上線、西武新宿線をご利用の場合



**駐車場がございませんので、車での来校はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。**



**ご協力をお願いいたします。**

2024 前期 受講申込書

FAX 04-2955-6929

受付番号

# FAX専用用紙

※お申込の前に、P23~27の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

- 駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
- 講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
- 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
- 申込締切日厳守をお願いします。
- 講座中、広報媒体用(パンフレット、チラシ、ホームページ等で使用)として、写真・動画の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を下記の通り申込ます。

←ご確認の上、必ずチェックを入れてください。

講座番号	希望講座名	
ご住所	〒	
お名前	(フリガナ)	
	男・女	
電話番号	携帯 ( )	自宅 ( )
	※必ずご記入ください。	
E-mail		
生年月日	(大・昭・平) 年 月 日 ( 歳)	
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他( )	
	◆講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。	
	<input type="checkbox"/> 東京家政大学からの案内(パンフレット) <input type="checkbox"/> 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット <input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 東京家政大学のホームページ <input type="checkbox"/> 市報 <input type="checkbox"/> 知人・友人の紹介 <input type="checkbox"/> その他具体的に( )	
公開講座の受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 { }	

ミシン線から切り離してご利用ください

記入不要です。

2024 前期 受講申込書

# FAX専用用紙

※お申込の前に、P23～27の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

## FAX番号

# 04-2955-6929

※表裏を間違えて送信されないようご注意ください。



東京家政大学  
ヒューマンライフ支援機構  
地域連携推進センター

## 講座風景



絵本を楽しもう!



臨床美術を人生に生かす



魅力的な体力づくり



からだの健康維持と改善に向けた養生法

2024 前期

# 受講申込書

記入不要  
です。→

受付番号

※お申込の前に、P23～27の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

- 駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
- 講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
- 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
- 申込締切日厳守でお願いします。
- 講座中、広報媒体用(パンフレット、チラシ、ホームページ等で使用)として、写真・動画の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を下記の通り申込ます。

←ご確認の上、必ずチェックを入れてください。

講座番号	希望講座名	
ご住所	〒	
お名前	(フリガナ)	
	男・女	
電話番号	携帯 ( )	自宅 ( )
	*必ずご記入ください。	
E-mail		
生年月日	(大・昭・平)	年 月 日 ( 歳)
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他( )	
◆講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。	<input type="checkbox"/> 東京家政大学からの案内 (パンフレット) <input type="checkbox"/> 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット <input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 東京家政大学のホームページ <input type="checkbox"/> 市報 <input type="checkbox"/> 知人・友人の紹介 <input type="checkbox"/> その他具体的に ( )	
公開講座の受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 	

ミシン線が切り離して使用ください

ミシン線が切り離して使用ください

## — 個人情報の取扱いについて —

本申込書にていただいた個人情報は、個人情報保護法及び関連法令に基づき適正に管理、保護し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。また、個人情報についての訂正・削除等を希望される場合は東京家政大学地域連携推進センターまでお申し出ください。

郵便はがき

# 講座風景

所定の  
郵便料金の  
切手を  
お貼りください

3 5 0 1 3 9 8

埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1

(受取人)  
東京家政大学狭山校舎

ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

公開講座受付係 行



Tokyo Kasei塾 2023 (保育者編)



(狭山市共催) 家庭でできる簡単!  
健康ストレッチ体操



[TJUP] 県西部大学連携リレー公開講座



[TJUP] 子どもスポーツ体験教室

ミシン線から切り離してご使用ください

ミシン線から切り離してご使用ください

東京家政大学  
ヒューマンライフ支援機構  
地域連携推進センター

住 所：〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1

T E L：04 (2955) 6959 F A X：04 (2955) 6929

E-mail：chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

受付時間：平日9:00～17:00 土曜9:00～12:00

U R L：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html

